特集

第 25 回 MAGDA コンファレンス in 桐生

「第 25 回 MAGDA コンファレンス」特集号によせて

Introduction to the Special Issue on the 25th MAGDA conference in Kiryu石川 赴夫*¹(正員)

Takeo ISHIKAWA (Mem.)

本特集号は 2016 年 11 月 24 日, 25 日 桐生市市民文化会館で開催された第 25 回 MAGDA コンファレンス in 桐生 - 電磁現象および電磁力に関するコンファレンス - で講演された論文の中から, 日本 AEM 学会への学術論文および技術論文として投稿された原著論文を特集号としてまとめたものです。

コンファレンスの参加者は正会員 (含協賛学協会) 71 名, 学生 76 名, 一般 12 名, 一般公開の特別講演のみ参加者 8 名の合計 167 名の参加者で, ほぼ例年並みの数となりました。多数のご参加, ご協力に感謝しております。今回の大会ではオーガナイズドセッションは行わず, オーラルセッションとポスターセッションを行いました。その発表論文数は, オーラルセッション 71 件, ポスターセッション 36 件, 特別講演 2 件, 日本 AEM 学会論文賞受賞講演 1 件, 技術賞受賞講演 2 件の合計 112 件でした。今回もコンファレンスの一層の活性化を図るため年齢 35 歳以下の発表者で, すでに会員である者及び会員の意思を示した者を対象とした優秀な発表について表彰を行いました。受賞者と講演論文タイトルについては Vol. 25, No. 1, p.58, 2016 及び学会 HP を参照されたい。オーラルとポスター論文の分野, 日本 AEM 学会への投稿と採択件数を纏めると表のようになります。

初日に雪が降った MAGDA コンファレンス in 桐生からちょうど半年が経ち, 5 月 21 日には群馬は 35 度を越える暑さでした。日本の四季を感じながらこの原稿を書かせていただいております。慣れていなく, 2 月末から査読作業を始めました。そのため, 査読中の論文が 1 報, 修士課程を修了し社会人になったため論文取り下げが数件ございました。もっと早く査読作業を行なっていれば, もう少し採択論文が増えたのではないかと深く反省しております。

連絡先: 石川赴夫, 〒376-8515 群馬県桐生市天神町 1-5-1 群馬大学大学院理工学府電子情報部門
e-mail: ishi@gunma-u.ac.jp

最後に, 今回の MAGDA 開催にあたり協賛いただいた学協会, 会議運営にご尽力いただいた実行委員の方々に厚くお礼申し上げます。本特集号が刊行できたのも, 日本 AEM 学会の学会員皆様のご尽力によるものであります。ここに重ねて感謝申し上げます。次回の第 26 回 MAGDA コンファレンスは 2017 年 10 月 26 日, 27 日に金沢市文化ホールで開催される予定です。多数の方々のご参加と論文のご投稿をお願いいたします。

表. 発表論文及び学会誌採択論文の分野別分類

分野	キーワード	発表	投稿	採択
応用と制御		70	34	25
	超電導	3	2	0
	電磁アクチュエータ (圧電, 電歪, 磁歪, 形状記憶合金など)	28	15	10 査読 中 1
	電磁マイクロマシン	1	0	0
	磁気浮上	14	8	6
	磁気軸受	3	2	2
	電磁歯車	1	0	0
	探傷	5	0	0
	センサ	5	2	2
	誘導加熱	1	1	1
	生体医療への応用	5	3	3
	MR 流体	4	1	1
電磁材料の 物理と化学		2	1	1
	電磁弾性振動	1	0	0
	インテリジェント電 磁材料	1	1	1
解析技術		24	0	0
	モデリング	2	0	0
	数値解析	15	4	3
	材料の劣化損傷検出 と材質評価	7	2	1
システム構 築		0	0	0
その他		11	4	2
計		107	45	32